愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	総合演習Ⅰ		
担当者(Instructors)	今瀬 政司	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

この演習では、「人を大切にして成長する経営」をテーマにして、社員などの幸せを大切にしながら、好業績を上げ続ける経営を行っている企業・団体について主に学ぶ。学習内容として、①「人を大切にして成長する経営」のノウハウと具体的事例を学ぶ。また、②企業・団体の経営の本質的な姿を（定性的かつ定量的に）分析して見抜く知識・ノウハウを実践的に学習する。さらに、③企業・団体の現場を訪問して事例研究を行う学外実習を行う。授業を通じて、④就職活動の知識・スキル（企業・団体・行政機関（公務員））や実践的なビジネススキル（表現する力、受け止める力、協働する力等）を身につける。将来の就職活動や企業・団体・行政機関に勤める上で実際に役立つ知識・ノウハウとスキル（生きる力、働く力）の基礎を身につけて「成長する」こと、自らに「自信を持てる」ようになることを目標とする。授業形態は、原則各回を対面とするが、必要に応じて事前に連絡した上でオンラインで行う場合がある。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	テキストや参考資料をもとにした学習と企業・団体研究を行うと共に、現場訪問による事例研究として学外実習を行いながら、プレゼンテーション（スライド型・会議型・対話面接型等）やディスカッション、グループワークの機会も取り入れる。様々な時事問題や雑学、受講者の問題意識なども積極的に取り上げる。学習や進路・就職活動・学内外活動等での個別相談も必要に応じて行う。担当教員は、シンクタンク企業や多くの民間非営利組織等に所属して、様々な実践活動や国・自治体の政策形成等に携わってきていることから、その具体的な実務経験を紹介することで、リアリティを持って実践イメージを持てるようにする。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	演習の内容・進め方・課題・成績評価方法等。「人を大切にして成長する経営」の学習と企業・団体研究の概要	□
第2回	学習と企業・団体研究の計画	「人を大切にして成長する経営」の学習と企業・団体研究の計画、個別面談	□
第3回	「人を大切にして成長する経営」の基礎(1)：使命と責任	「人を大切にして成長する経営」のあり方、企業・団体の使命と責任等	□
第4回	「人を大切にして成長する経営」の基礎(2)：具体的ノウハウ	「人を大切にして成長する経営」の様々な具体的ノウハウ等	□
第5回	「人を大切にして成長する経営」の事例(1)：障がい者雇用等	障がい者雇用に積極的な企業経営、成熟産業を成長産業に変革する企業経営等	□
第6回	「人を大切にして成長する経営」の事例(2)：感動経営等	世界的展開をするローカル企業経営、感動をもたらす企業経営等	□
第7回	文書作成のスキル(1)：整理・論述	レポート・論文・ビジネス文書等の作成スキル、情報の整理のスキル、まとめ・考察・論述・感想文の違い、引用・参考文献等の著作権	□
第8回	文書作成のスキル(2)：表現方法	レポート・論文・ビジネス文書等の作成スキル、文語（書き言葉）と口語（話し言葉）の表現力、引用・参考文献の出典表記ルール	□
第9回	定性的な企業・団体研究(1)：ノウハウ	「人を大切にして成長する経営」を行う企業・団体の定性的分析・研究ノウハウ	□
第10回	定性的な企業・団体研究(2)：実践	「人を大切にして成長する経営」を行う企業・団体の定性的分析・研究の実践	□
第11回	実践的なビジネススキルの基礎(1)：受発信力	様々な実践的なビジネススキル（受け止める力、表現する力等）、就職活動の知識（企業・団体・行政機関）	□
第12回	実践的なビジネススキルの基礎(2)：連携・協働力	様々な実践的なビジネススキル（連携・協働する力等）、就職活動の知識（企業・団体・行政機関）	□
第13回	プレゼンテーションの基礎(1)：スライド型	レポートのプレゼンテーション（スライド型等）とディスカッション、グループワーク	□

第14回	プレゼンテーションの基礎(2)：会議型	レポートのプレゼンテーション（会議型等）とディスカッション、グループワーク	□
第15回	学習と企業・団体研究の総括	学習と企業・団体研究の振り返りと総括、自己評価と他者評価、個別面談	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

自らの興味や考えを大事にしながら、授業時間外でも積極的に学びを深め、調査研究や実践活動を行い、課題に取り組むこと。自身で分からない疑問等は、積極的に教員に質問・相談等を行うこと。（事前・事後で４時間程度）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

演習テーマに関連する様々な時事問題や雑学、受講者の問題意識に関連した事柄についても積極的に取り上げる。演習での学びや課題のほか、進路・就職活動や学内外活動等の相談にも乗り個別面談アドバイスを行う。状況に応じて、学習・取組みの成果をホームページ等で情報発信することがある。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	「人を大切にして成長する経営」を行う企業の具体的事例を理解・説明できる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	「人を大切にして成長する経営」のあり方、実践的ノウハウを理解・説明できる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	実践的なビジネススキル（表現する力、受け止める力、協働する力等）の基礎を身につけることができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			30%	70%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

その他：授業期間中のレポート。積極的に学びを深め、調査研究や実践活動を行い、課題に取り組んで「成長しているか」、実社会で役立つ知識・ノウハウやスキルを身につけて「成長しているか」等について、授業状況や提出課題で公平に点数化して総合的に評価する。原則、各回授業に出席することで出席扱い。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	坂本光司『日本でいちばん大切にしたい会社』（１巻）あさ出版	9784860632489
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	坂本光司『日本でいちばん大切にしたい会社２巻～８巻』あさ出版	
2	その他、演習テーマに関連した参考文献や実践的な経営情報等を随時紹介する。	
3		
4		
5		